

初修外国語

中級ドイツ語

《担当者名》常勤講師 / 阿部 和夫

【概要】

ドイツ語への理解とドイツの社会文化に関する知見を深めるためのドイツ語講座

【学修目標】

初級ドイツ語に続き、ドイツ語による読み・書き・会話の基礎的な力を身に付ける。

ドイツの社会や文化についての知識を増やししながら、環境問題、戦争と平和、欧州連合といった時事的なものまで多岐にわたるテーマを理解していくことで、ドイツ語だけではなく、ドイツ事情や社会問題についての理解を深める。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	発音の復習と聞きとり	ドイツ語独特の発音ができる。 ドイツ人へのインタビューを聞き取ることができる。 薬学準備教育ガイドライン (1)-2	阿部 和夫
2	様々な動詞	これまでに学んだ動詞と新たな不規則変化動詞を使いこなすことができる。 ・グリム童話の世界 薬学準備教育ガイドライン (1)-2	阿部 和夫
3	非人称のes	自然現象や心理現象を表現することができる。 esを使った慣用表現を用いることができる。 薬学準備教育ガイドライン (1)-2	阿部 和夫
4	前置詞とその格変化	前置詞の格支配の仕組みを理解し、説明できる。 ・ドイツの街並みと旅行について 薬学準備教育ガイドライン (1)-2	阿部 和夫
5	前置詞(つづき) これまでのまとめ	注意すべき前置詞の用法を説明できる。 ・項目ごとの理解度をチェックし、次の段階へ進む。 薬学準備教育ガイドライン (1)-2	阿部 和夫
6	枠構造	ドイツ語の基本構造は枠であることを理解し、説明できる。 ・様々な枠構造について 薬学準備教育ガイドライン (1)-2	阿部 和夫
7	話法の助動詞その1	英語にそっくりな一連の助動詞たちを説明できる。 ・ユーロと欧州連合について	阿部 和夫

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		薬学準備教育ガイドライン (1)-2	
8	話法の助動詞その2	英語との共通点と相違点を説明できる。 助動詞を用いた言い回しが可能になる。 薬学準備教育ガイドライン (1)-2	阿部 和夫
9	分離動詞	二つに分かれてしまう動詞について説明できる。 ・アルツハイマーについて 薬学準備教育ガイドライン (1)-2	阿部 和夫
10	分離動詞と非分離動詞	二つに分かれない動詞について説明できる。 時刻表現が使用可能になる。 薬学準備教育ガイドライン (1)-2	阿部 和夫
11	命令形	3種類の命令形を使うことができる。 薬学準備教育ガイドライン (1)-2	阿部 和夫
12	これまでのまとめ 総合的な問題練習	項目ごとの理解度をチェックすることにより、次の 段階へ進むことができる。 薬学準備教育ガイドライン (1)-2	阿部 和夫
13	動詞の3基本形	不定詞 - 過去基本形 - 過去分詞の3基本形について 説明できる。 薬学準備教育ガイドライン (1)-2	阿部 和夫
14	現在完了	日常会話で専ら用いられる現在完了を使うことができ る。 ・ドイツ映画事情、テレビ事情について 薬学準備教育ガイドライン (1)-2	阿部 和夫
15	総括と復習	「ドイツ語とはどんな言葉なのか」、総括できる。 薬学準備教育ガイドライン (1)-2	阿部 和夫

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

期末定期試験（筆記試験） 70% 授業参加態度と小テストなどの平常点 30%

試験後は質問に応じる。

【教科書】

「イン・ドイチュラント (in Deutschland) 」秋田静男他著 朝日出版社 2016年

【参考書】

独和辞典 (種類は問わない)

【学修の準備】

- ・ 予習として：教科書付属CDの次回の授業範囲部分を聞き、あらかじめ耳を慣らしておくこと (60分)。
- ・ 復習として：教科書付属問題集の中から、前回の授業内容にかかわる問題を解くこと (30分)。

【薬学準備教育ガイドライン】

(1) 人と文化-2

【薬学部ディプロマ・ポリシー (学位授与方針) との関連】

1. 医療人として求められる高い倫理観を持ち、法令を理解し、他者を思いやる豊かな人間性を有する。
3. 多職種が連携する医療チームに積極的に参画し、地域のおよび国際的視野を持つ薬剤師としてふさわしい情報収集・評価・提供能力を有する。